

令和7年 大岡中学校 1年生福祉学習(車椅子体験)

日時：10月14日(火曜日) 第5～6時間目 13時30分～15時20分

対象：1年生137名(4クラス)2クラスずつ実施

主催：沼津市社会福祉協議会 共催：大岡地区社会福祉協議会

場所：大岡中学校体育館

中学生の車椅子体験は、障害者や高齢者の気持ちを理解し、バリアフリーについて考えることを目的として行われました。車椅子に乗るだけでなく、押す体験をしたり、マットを使用し悪路や段差、坂道の体験を行い、被介護者が安心できる支援の在り方を考えます。

また、体験を通じて「できる事」と「難しい事」を学び支援が必要な場面を知り、その時に自分が、何ができるのかを考え、車いす利用者や障害者だけでなく、友達や家族にも同じように困っている場面で主体的に行動できるようになることを目指します。

車椅子構造取り扱い
注意点について説明



車いす体験風景



※【共感と理解・理解の促進】

実際に車椅子に乗る事で、体の不自由さや日常生活での困難さを体験し、障害者の気持ちを理解する。

※【バリアフリーの意識向上】

学校内の段差や移動しにくい場所など、バリアのある場所など、バリアのある場所を実感し、改善すべき点に気づく。

※【体験から学べること】

- ① この体験を通じて通学路の段差、坂道、狭い通路など、物理的に移動が難しいと感じる場面を知る事ができると思います。
- ② 心のバリアは物理的なものだけでなく、無関心や偏見といった「心のバリア」もあることに気づき、設備の改善はすぐにできなくても、日頃から相手を思いやる行動することが「心のバリアフリー」につながると思います。